

式辞 (平成30年度入学式)

新入生、そして、保護者のみなさん入学おめでとうございます。春爛漫のこの日に、本校入学式を行えることを心より嬉しく感じます。このよき日に、新入生111名を迎え、管理町の三宅町から森田浩司町長様、川西町から竹村匡正町長様をはじめ、たくさんのご来賓のみなさまのご臨席を賜り、入学式を盛大に挙行できますことに心からお礼申し上げます。誠にありがとうございます。

春3月別れの季節。それぞれの小学校の卒業式が行われました。3月19日の三宅小学校の卒業式は、伝統の対面式での式進行です。会場には、一人一人の自画像が飾られ、卒業授与式の背景には、お家の方々から寄せられた思い出の一枚の写真が写し出されます。中山校長は、「三宅町の災害で1か月遅れになった広島修学旅行セレモニーの歌声、部団長・鼓笛隊・行事での活躍に、あなたたち6年間の成長があり、それは家族の誇りである。」と語られていました。また、三宅町長様は、「その誇りと自信を持って、更なるステップアップを中学校では期待する。三宅町からは、牛革のレプリカを進呈し、百年以上の地域の歴史を君たちに託す。」と激励されてきました。

3月20日には、川西小学校の卒業式がありました。大塚校長は、「あなたたちの夢と希望は宝石の原石のようなもの。磨きをかけてください。今年度のピョンチャンオリンピックで活躍した選手の多くは、感謝を素直に人に伝えていた。これからも、共に泣き、笑いあった仲間へ感謝し合える関係を作ってほしい。」とおっしゃっていました。そして、竹村町長様も、「周りに感謝の気持ちを持ち、卒業すること。優しく、強い心を持ち続ける事。」と、卒業生72名に声掛けされてきました。川西町には、世界に誇る貝ボタンの作製が地元産業にあります。町からは、小学校にこの貝ボタンが制服のボタンとして寄贈されています。

春4月出会いの季節。このように、あなたたちは、保護者・地域、そして、お世話になった先生がたの想いを受け、本校に入学します。それぞれの校歌の歌詞にあるように、緑の町、みどりの心・力・命を大切にしながら、中学校への次のステップへ歩みを進めましょう。新入生のみなさん、目標をしっかり見据え、やり抜く強い意志を持って生活するなら、必ず世界に1つだけのあなたの花を咲かせることができると信じています。今日の緊張感と感激を忘れず、共に夢と希望の式下中学校を目指しましょう。

結びとなりましたが、保護者の皆様、お子様の御入学おめでとうございます。今日から、3年間、式下中学校が、大事なお子様をお預かりします。本校職員一同、力の限りお子様の成長のために頑張る所存ですので、今後とも学校に対して深いご理解とご支援を賜りますようお願いいたします。

新入生のみなさんの中学校生活が楽しく充実したものになることを念じて、式辞といたします。

平成30年3月11日

川西町・三宅町式下中学校組合立式下中学校長 木寅雅史



式下中学校組合立式下中学校

(校章) 青垣山が四方をとりまき、山麓に瑞雲たなびく奈良盆地。その中央に建つ式下中学校を表わしています。瑞雲とは、めでたいしるしの雲で、聖徳太子の由緒の地を意味しています。



学校教育目標 しっかりと考え、きっちり判断でき、げんきな式中生の育成



校訓



体育大会



文化祭